第 5 期 計 算 書 類

令和4年6月 1日から 令和5年5月31日まで

貸借対照表個別注記表

<u>貸 借 対 照 表</u> (令和5年5月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	271, 847	流動負債	82, 037
現金及び預金	256, 969	短期借入金	4, 696
売掛金	12, 040	未払金	37, 584
立替金	955	未払費用	6, 437
前払費用	1,884	未払法人税等	18, 650
未収入金	0	未払消費税等	11, 869
未収収益	0	前受金	138
仮払金	0	預り金	2, 664
固定資産	4, 690	固定負債	34, 159
有形固定資産	804	長期借入金	34, 159
建物	0	負債合計	116, 196
構築物	0	(純資産の部)	
機械装置	0	株主資本	160, 341
車両運搬具	0	資本金	89, 006
工具器具備品	711	資本剰余金	85, 006
一括償却資産	93	資本準備金	85, 006
無形固定資産	0	利益剰余金	$\triangle 13,671$
ソフトウェア	0	利益準備金	0
投資その他の資産	3, 885	その他利益準備金	$\triangle 13,671$
関係会社株式	3, 487	繰越利益剰余金	△40, 806
敷金	35	新株予約権	0
長期前払費用	364	純資産合計	160, 341
資産合計	276, 537	負債・純資産合計	276, 537

(当期純利益 27, 135)

(注)記載金額は、千円未満を四捨五入表示しております。

【個別注記表】

(重要な会計方針)

- 1. 有価証券の評価基準及び評価方法
 - (1) 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法を採用しております。
- 2. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産 定率法を採用しています。 なお、主な耐用年数は次のとおりであります。 工具、器具及び備品 4年~5年
 - (2) 無形固定資産 定額法を採用しています。 なお、主な耐用年数は次のとおりであります。 自社利用のソフトウェア 5年
- 3. 引当金の計上基準
 - (1) 貸倒引当金 該当事項はありません。
- 4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は税抜方式によっております。